

# electro-harmonix

## BASS SOUL FOOD

### Overdrive

Electro-Harmonix BASS SOUL FOODをご購入いただきありがとうございます。BASS SOUL FOODは、EHXから新たに発表された優れたベースオーバードライブ/クリーンブーストで、使用する楽器本来のキャラクターを生かしたい、トーンにこだわりのあるプレイヤーのためにデザインされています。ピュア〜色付けされたクリーンブースト、マイルド〜フル・オーバードライブサウンドまで、広いレンジをカバーしています。

楽器から出る信号(原音)をオーバードライブ回路にブレンドすることができるため、ローエンドが削られることなく、クリアなフル・サウンドが得られます。また十分な出力を持っているので、ミックスの中でもあなたのサウンドが埋もれることはありません。BASS SOUL FOODを使えば、どのような演奏スタイル/セッティングでも、妥協のないベストなトーンが得られることでしょう。

**注意:** BASS SOUL FOODには、Electro-HarmonixのJP9.6DC-200 ACアダプターが付属しています(実際にBASS SOUL FOODが消費するのは、22mA at 9VDCセンターマイナスとなります)。上記以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります。また、誤ったACアダプターの使用が原因での故障については保証対象外となりますのでご注意ください。また9V電池(アルカリ電池推奨)1個でも動作します。

### — コントロールについて —

**DRIVE(ドライブ)コントロール:** 入力ゲインを調節します。時計回りに回すに従い、オーバードライブのレンジはクリーンブーストから激しいディストーションサウンドに変化します。このコントロールノブを回せば、ノブの位置によって様々なドライブサウンドを体感できます。様々なセッティングを試して、お好みのサウンドを見つけて下さい。

**TREBLE(トレブル)コントロール:** トーンコントロールです。コントロールノブが12時の位置はフラットとなり、そこから時計回りに回すと高域が強調されサウンドが明るくなります。反対に12時の位置から反時計回りに回すと、高域が抑えられた低域が目立つサウンドになります。

**BLEND(ブレンド)コントロール:** 楽器から出力されたドライ音とエフェクト音の音量バランスを調節します。反時計回り一杯(0%)に回しきると出力信号はドライ音のみとなります。この設定時は、

DRIVE/TREBLEコントロールは無効となります。時計回り一杯(100%)に回しきると、出力信号はエフェクト音のみとなります。コントロールノブが12時の位置(50%)では、ドライ音とエフェクト音は50/50(1:1)となります。

ヒント:BLENDコントロールとDRIVEコントロールを組み合わせ、色々な設定を試してみてください。DRIVEコントロールが低めに設定されているときは、完全なドライサウンド(BLENDが0%)~完全ウェット(BLENDが100%)のクリーントーンまで、BLENDコントロールの設定がBASS SOUL FOODのクリーンブーストのトーン・カラーを決定します。

**VOL(ボリューム)コントロール**:BASS SOUL FOODから出力される音量を調節します。時計回りに回すと、音量が大きくなります。なお、このコントロールはBLENDコントロールで設定された信号レベルに影響します。

**PADスイッチ(-10dB/0dB)**:ドライ信号の入力段での音量を設定します。スイッチを下側(0dB)に設定すると信号の減衰は行われず、上側にすると信号が-10dB減衰します。アクティブのベースや、パッシブでも高出力の楽器を接続する際、このスイッチをオン(-10dB減衰)にすると、本機回路における過負荷(オーバーロード)を防ぐことが出来ます。また、エフェクトチェーン内で、BASS SOUL FOODを高出力のエフェクトペダルの後に接続するときにも、必要であればこのスイッチをオンにします。なお、過負荷(オーバーロード)はDRIVEコントロール低めでTREBLEコントロールを高めに設定したときに発生しやすいのでご注意ください。

**フットスイッチ & LED**:このスイッチで、本体エフェクトのオン/オフ(バイパス)を切り替えます。オンにすると、スイッチ横のLEDが点灯します。なお、オフ(バイパス)の場合、トゥルーバイパスにするかバッファード・バイパスにするかを、本体内部のスイッチで選択出来ます。詳細は後述の「バイパスモード切替スイッチ」の項をご覧ください。

**INPUT(インプット)ジャック**:ベースやその他の楽器を接続する入力端子で、接続には楽器用ケーブルを使用します。入力インピーダンスは1MΩです。

**AMP(アンプ)ジャック**:BASS SOUL FOODからの信号を出力する端子で、アンプや後段のエフェクター等に接続します。接続には楽器用ケーブルを使用します。出力インピーダンスは650~3.3kΩです。

**バイパスモード切替スイッチ**:本体の裏蓋を外すと、AMPジャックの下、フットスイッチを支えている基板の右下に、小さな切替スイッチが付いているのが分かります。またその基板の右側には以下のように書いてあります:

Buffer ←→ True

スイッチがTrue側(上側)に設定されているときは、トゥルーバイパスとなります。また、スイッチがBuffer側(下側)に設定されているときは、バッファードバイパスとなります。通常(工場出荷時)は、True側に設定されています。

トゥルーバイパスを選択時、エフェクトをオフ(バイパス)にすると、INPUTジャックはAMPジャックにダイレクトに接続されます。バッファードバイパス選択時は、バイパス信号はAMPジャックに入る前に高品質バッファ回路を通過します(なお、バッファ回路は電源を必要としますので、バッファードバイパス選択時は付属のACアダプターまたは9V電池をご使用下さい)。

**9V電源ジャック:**本機の頭側に配置されている、電源アダプターを接続するための入力端子です。必ず付属のElectro-Harmonix JP9.6DC-200 ACアダプターを使用して下さい(それ以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります)。消費電流は22mAで、電源アダプターは9VDCセンターマイナスです。

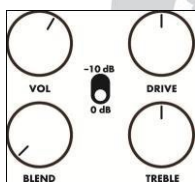
## － 電池交換について －

電池交換時やバイパスモードを切り替える際は、本体底面の4つのネジを外します。裏蓋を外している間は、基板上のバイパスモード切替スイッチ以外の部分には触れないようにご注意ください。

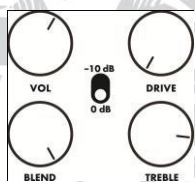
## － サンプルセッティング －

**注意:**以下に掲載のサンプルセッティング図は、PADスイッチが0dBに設定されています。その時のセッティングやお使いの楽器の出力レベルに合わせて、スイッチは切り替えて下さい。

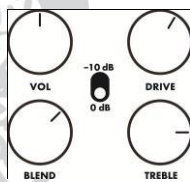
### Pure Clean Boost



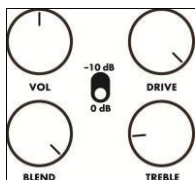
### Effected Clean Boost



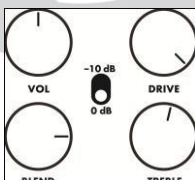
### Mild Overdrive



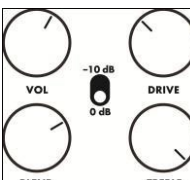
### Smooth Solo Drive



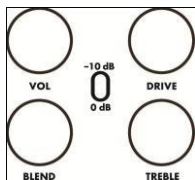
### Warm Rock Drive



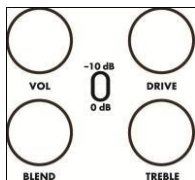
### Picking Attack



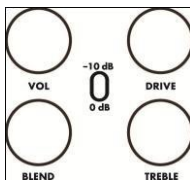
### User Setting:



### User Setting:



### User Setting:





正規輸入代理店

**株式会社 キョーリツコーポレーション**

**カスタマーサポート**

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11

NEWS日本橋堀留町ビル 10F

TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166

E-MAIL : support@kcmusic.jp